

[2014]九州大学情報統括本部年報 : 2014年度

<https://doi.org/10.15017/1560528>

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2014, pp.1-, 2015. 九州大学情報統括本部
バージョン :
権利関係 :

第11章 教育支援事業

11.1 教育用 ICT 環境の整備運用

- 教育情報システムの日常的な管理運用

教育用パソコンの運用を行いました。(参考資料 1-1~3, 2-1~3)

11.2 教育用 ICT 環境の利用支援

(1) 利用者支援

Web ページ上の教育用パソコンに関する情報の更新、掲載を進めました。

学府向けオリエンテーション支援として、情報システムに関する案内文書を作成し、配布しました。

(2) 各部局の FD 支援

ICT を利用した教育のプロジェクト支援を行いました。

- 九州がんプロ養成基盤推進プラン
- 看護実践力プロッサム開花プロジェクト

11.3 Web 学習システム等の教育支援システムの管理運用

- 各教育支援システムの管理運用

Web 学習システム(Web を利用した学習支援システム、Blackboard Learn)、Handbook Studio(スマートフォン用コンテンツ作成・提供システム)、Echo360 システム(授業録画システム)の運用を行いました。

Web 学習システムには、全学生と SSO-KID を所持する教職員を登録しました。登録者には、「情報漏洩対策マニュアル」、「情報倫理教材」を提供しています。一部の情報倫理のコースは、留学生向けに英語版を提供しています。また、「よくわかる Office 2013」のコースの提供を開始しました。

11.4 語学学習システムの管理

- 語学学習システムの管理

英語教育用のシステム (NetAcademy2) 用のサーバ管理を行いました。

※運用は言語文化研究院

NetAcademy2 には、全学生と SSO-KID を所持する教職員が登録されています。

11.5 教育用のコンテンツの整備・情報発信支援

- 情報発信サーバの管理運用

九州大学オープンコースウェアや動画（QuickTime 形式）配信のためのサーバの運用を行いました。

11.6 全学シラバスシステムの運用

- シラバスシステムの運用

学務部と協力して、全学のシラバス情報を統合したシステムの運用を行い、部局から提供されるデータの登録作業等を行いました。平成 27 年 3 月時点で、基幹教育の他、学部等では教育学部、経済学部、理学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、芸術工学部、農学部、21 世紀プログラム、教職課程、大学院では人間環境学府、数理学府、医学系学府、歯学府、薬学府、芸術工学府、システム情報科学府、総合理工学府、生物資源環境科学府、統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻が利用しています。

11.7 遠隔講義・会議システムの整備および利用支援

(1) 遠隔講義システムの運用

遠隔講義システム「qClass」および多地点接続装置を運用し、キャンパス間および学外との遠隔講義・テレビ会議の開催、全学的な説明会等を支援しました。

（参考資料 3, 4）

(2) 遠隔講義システムの利用支援

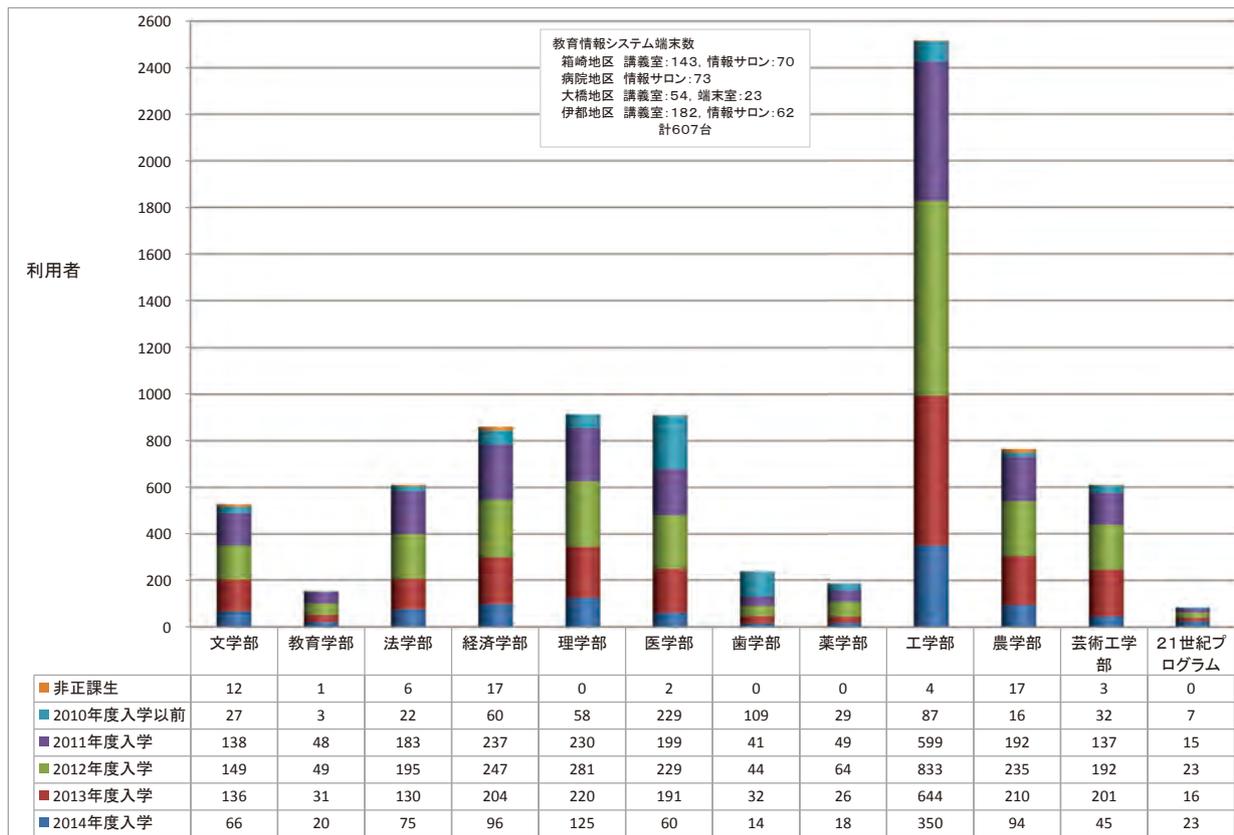
遠隔講義システム「qClass」の利用者向け講習会を開催しました。また、次の方法により学内におけるテレビ会議・遠隔講義の実施等を支援しました。

- Web ページへの情報掲載
- Web 会議システムの利用支援

参考資料1-1

教育情報システム 端末・ホスト実利用者

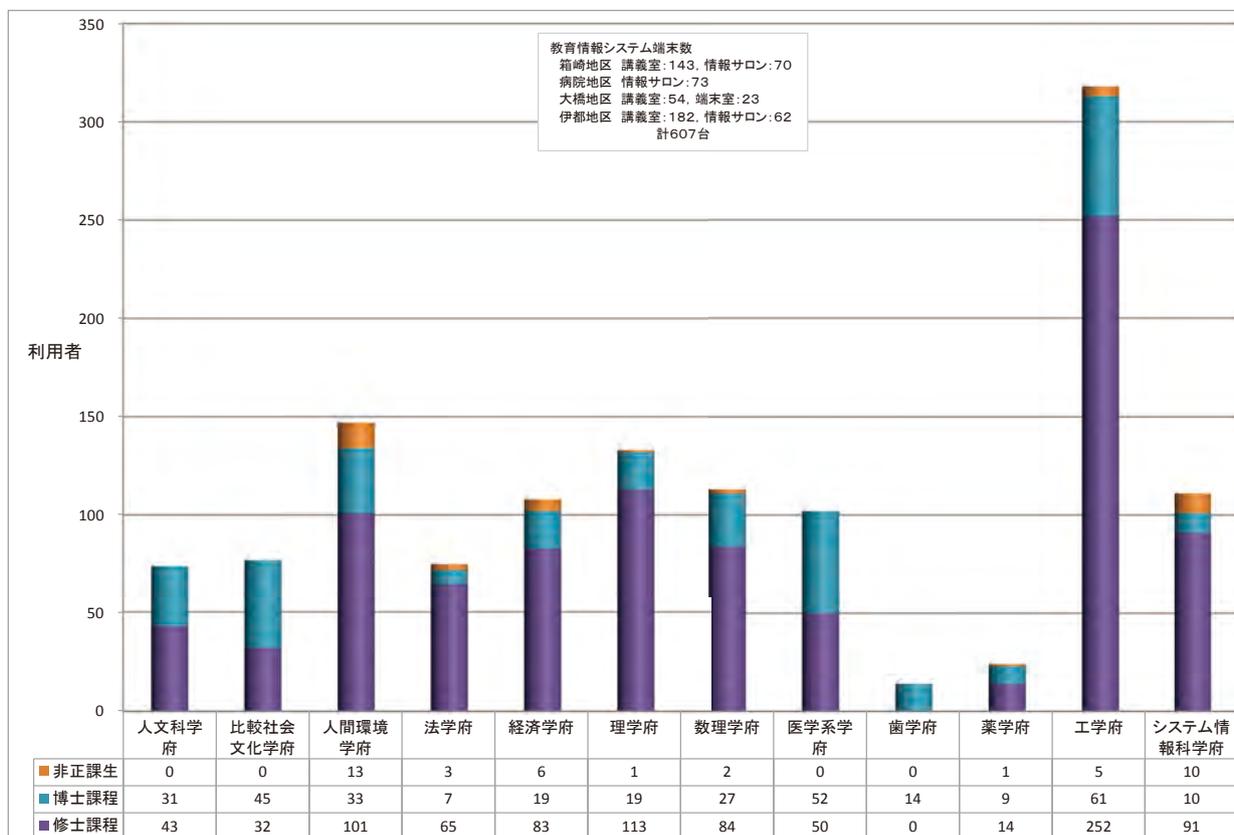
2014/04/01~2015/03/31

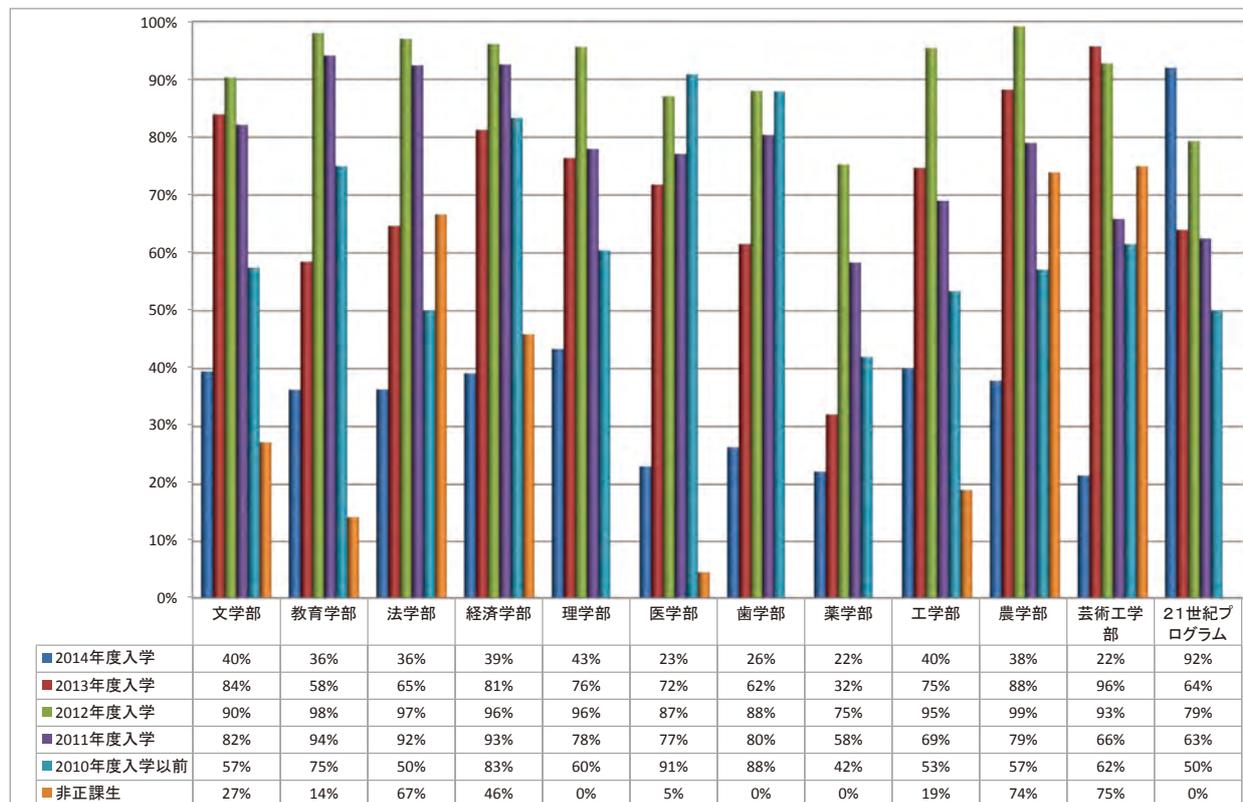
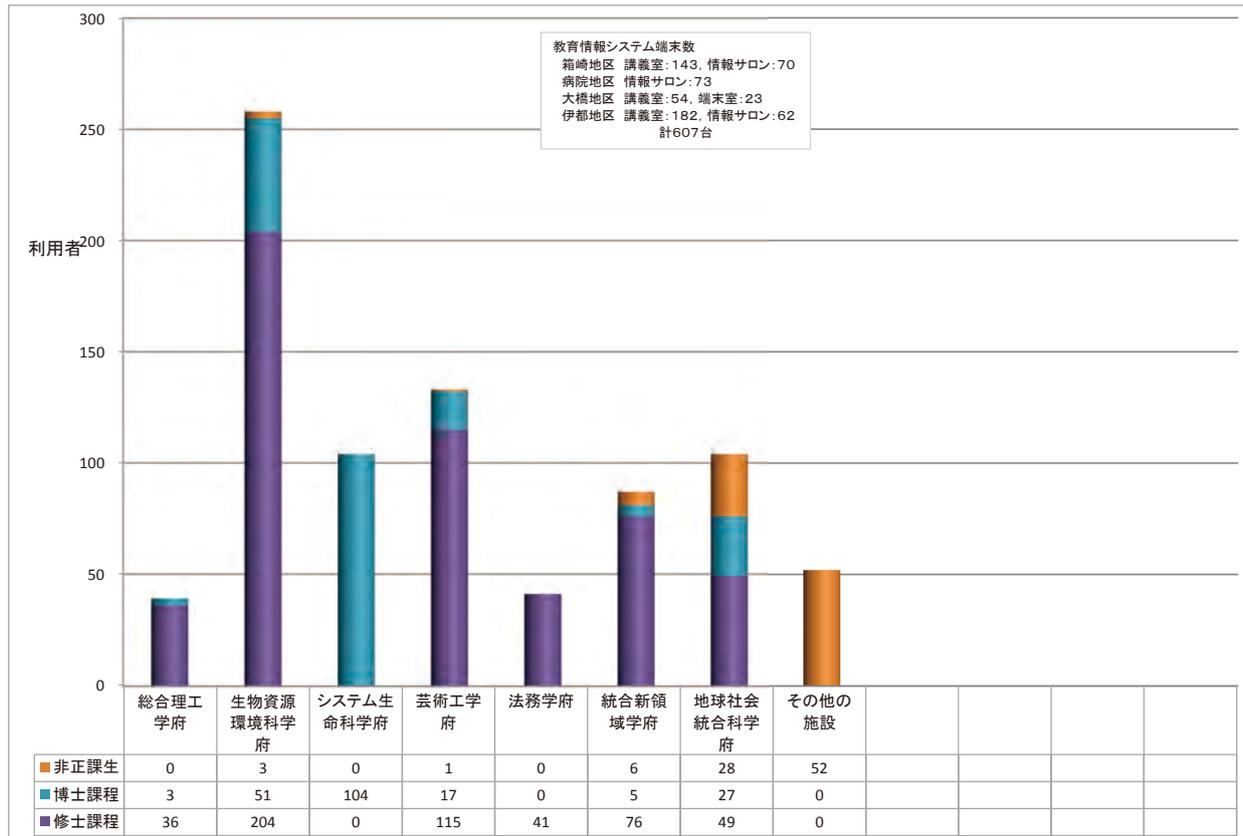


参考資料1-2

教育情報システム 端末・ホスト実利用者

2014/04/01~2015/03/31

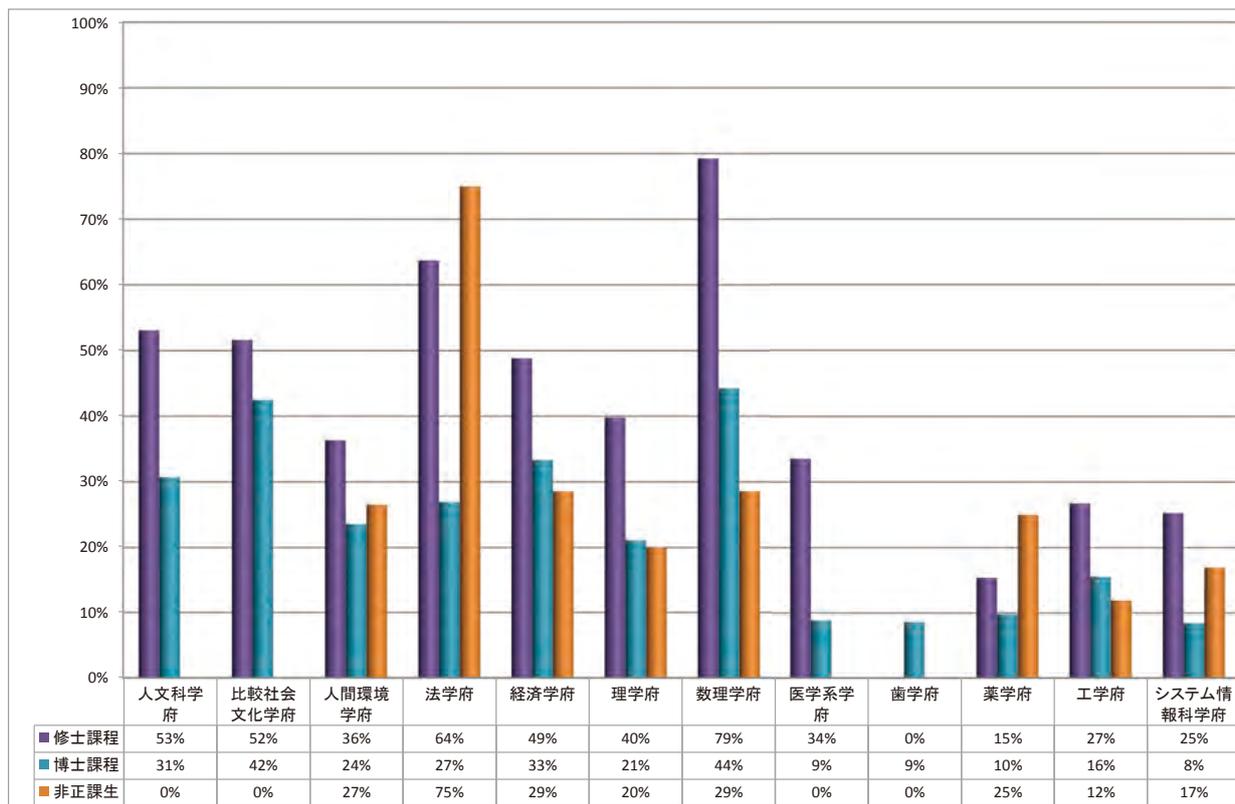




参考資料2-2

教育情報システム 端末・ホスト利用者数の登録者数に対する比率

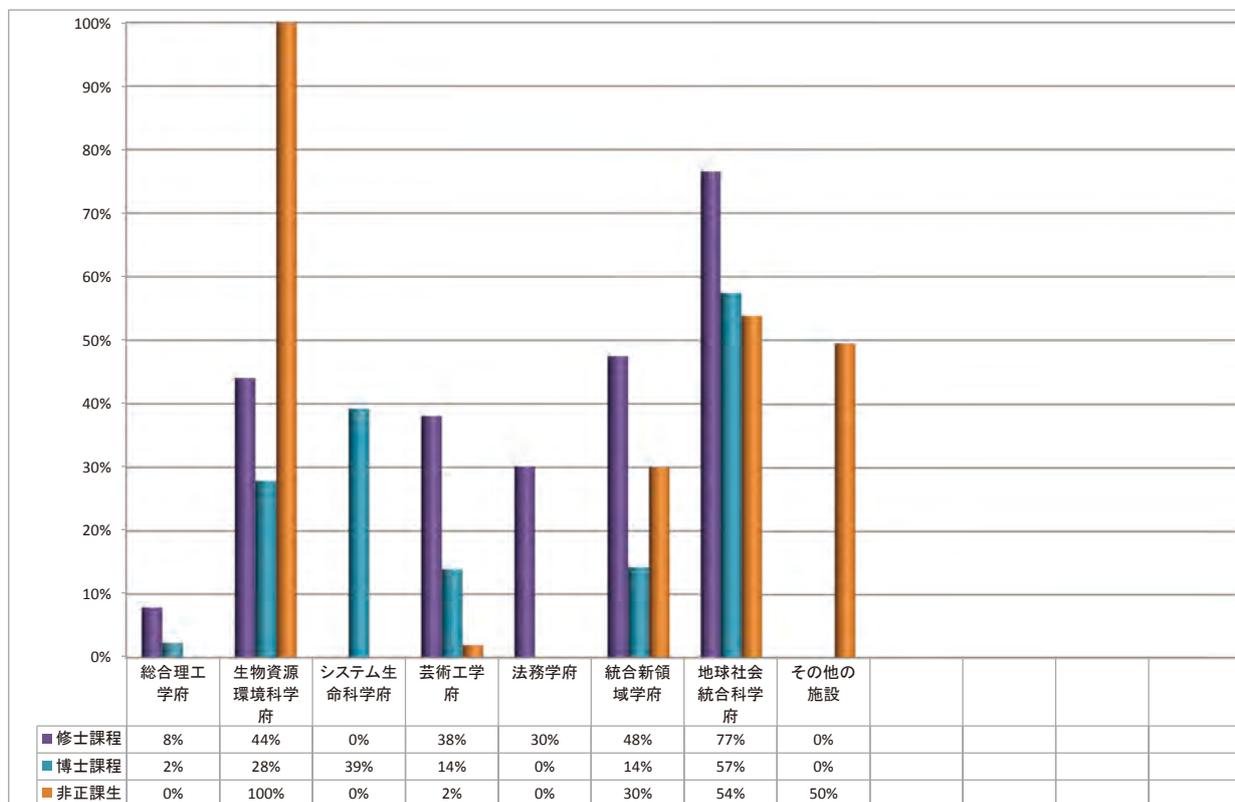
2014/04/01~2015/03/3



参考資料2-3

教育情報システム 端末・ホスト利用者数の登録者数に対する比率

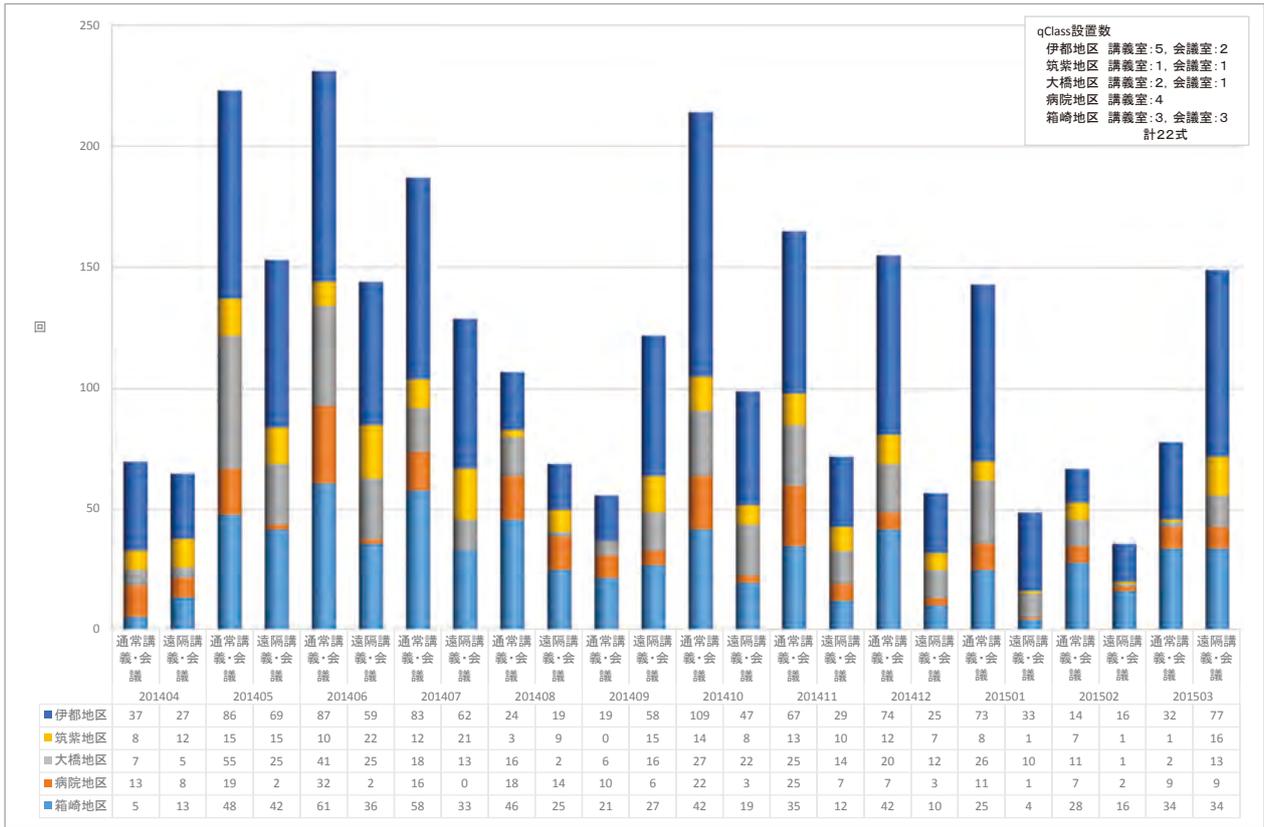
2014/04/01~2015/03/31



参考資料3

遠隔講義・会議システム「qClass」利用回数

2014/04/01～2015/03/3



参考資料4

遠隔講義・会議システム「qClass」利用時間

2014/04/01～2015/03/3

